

日工機材

**金型メーカーと共に発展を誓う
切削工具のプロフェッショナル**

(大阪)



小玉 次郎 社長

自 自動車や家電製品などあらゆるものづくりに欠かせない「金型」。用途に応じて様々な形があるが、この金型をつくる際、切削工具という鉄を削る工具が用いられている。

「当社は専門商社として、切削工具のことなら誰にも負けない自信があります。特に『エンドミル』という切削工具では長年のノウハウと高い商品力・販売力を兼ね備えています」と話すのは、日工機材株式会社の小玉次郎社長。切削工具に命をかける情熱の人だ。



青木 豊 営業部部长

同社の設立は1974年1月。以来、金型メーカーのニーズに 대응する切削工具及び部品磨き工具・治具・測定工具の販売を専門とする商社として信頼を獲得してきた。

その一方で、近年力を入れているのがオリジナル製品の開発事業。日立ツール(株)やオーエスジー(株)、YGIなど有力メーカーとタッグを組み、幅広い用途のオリジナルエンドミル製品を共同開発している。

加えて、同社が正規販売店として提供する「ジェイコア」は、優れた画像処理機能により精密加工の動的な重要ポイントを測定できる撮像式測定システムとして好評を博す。

「どんな要望にも対応できるラインアップを取り揃える必要があります。そのため、商社の枠を飛び越えることもいといたしません」(小玉社長)

**職場環境改善を進め
社内体制を一新**

小玉社長は、代表に就任後「変化への対応・業務効率化・人間力」をテーマに掲げ、社内体制の変革を断行してきた。

例えば、カタログの電子化やiPadを活用した営業活動、事務所に届くFAXを端末に配信し、どこでも確認できるようにするなどIT機器の導入で効率化

も確認できるようにするなどIT機器の導入で効率化

を図っている。

また、知識やノウハウだけではない人間的な魅力を引き出すことを目的に、あいさつや礼儀など基本的なことも含めた「人間力」に磨きをかけるよう徹底してきたという。

社内改革について青木豊営業部部长はこう話す。

「最初は困惑する社員もいましたが、小玉社長の熱意が伝わり、お客様の満足を追求するという考え方が浸透してきました。確実に『変化に対応できる』会社へと変貌を遂げつつあります」

今後は、全国への展開、世界のバイヤーへの販売強

オリジナルエンドミル

◎ スクエア

低価格を実現

2枚刃

4枚刃

◎ ボールエンドミル

2枚刃

日工機材オリジナルの製品をご提供します。

Jeyecore

加工段差ゼロを実現

撮像式測定システム

既存の加工機を精密加工機に

化、若い年代の社員や女性社員が活躍できる基盤の構築。そして積極的な採用活動など、さらなる改革に着手する構え。

「小さくても一流」を体現する同社なら、これからも金型メーカーと共にものづくりの発展を支え続けてくれるはずだ。(英)

【会社データ】

本社 大阪府中央区谷町8-2-3

TEL 06-6764-1021

資本金 1200万円

事業内容 切削工具及び磨き工具・治具・測定工具販売等

http://www.nikkokozai.com